

～ 予防対策の強化・拡充 ～

麻しん(はしか)が流行しています!!

現在、国内で麻しんの発生が増加しており、今後も流行の拡大が懸念されています。

川崎市市内においては、本年に入ってから既に27件(令和8年5月18日現在)の発生が確認され、海外渡航歴のない感染者も増えています。

麻しんは感染力が非常に強いウイルス感染疾患のため、注意が必要です。

流行状況を踏まえ、本市では、予防対策を強化・拡充するため、次のとおり新たに4つの取組を開始します。

なお、麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、早めに受診してください(受診の際はマスクを着用し、可能な限り公共交通機関等の利用を避けるようお願いいたします。)

1 麻しん(はしか)について

- (1) 典型的な症状：咳・鼻水・結膜充血、38～39℃以上の発熱、発疹など
- (2) 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染
- (3) 潜伏期間：7～18日(一般的には10～12日、最長21日)
- (4) 感染可能期間：発症する1日前～解熱した翌日から起算して3日間
- (5) 予防方法：麻しん含有ワクチンの接種

2 現行の取組について

(1) 定期予防接種

麻しん含有ワクチンを2回接種(第1期・第2期)します。

ア 第1期：生後12月から24月に至るまで

イ 第2期：小学校入学の前年度1年間

(2) 未接種の子どもに関する対応(無料の任意予防接種)

未接種の子どもに対して、定期予防接種の終了後1年間は無料で任意接種を受けられるよう、接種費用を助成します。

(3) 麻しんワクチンの緊急接種

麻しん患者との接触から72時間以内の場合、ワクチン接種により発症を予防できる可能性があるため、保健所が必要と判断した人に緊急接種を実施します。

3 予防対策の強化・拡充について

現行の取組に加え、新たに4つの取組を開始します(7月から順次開始予定)。
なお、詳細は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

【取組1】子どもに関する対応の強化



【目的】 **未接種者を減少させるとともに、確実な2回接種を進める**

【内容】 無料任意接種の対象を **中学校3年生まで拡大** します。

※ 対象者あて段階的に案内通知を送付します。

【期間】 **令和9年3月末まで**の時限措置(状況により延長を検討)

【取組2】環境整備による0歳児の感染予防



【目的】 **父母の免疫を高めることで、0歳児の予防環境を整備する**

【内容】 0歳児を持つ同居の父母で、ワクチン接種が1回以下の方に

「接種費用1回分(初診料・技術料を除く)」

又は「抗体検査費用1回分」を助成 します。

【期間】 当面の期間

【取組3】麻しん予防の啓発強化



【目的】 **確実な2回接種に向け、任意接種検討の機会を創出する**

【内容】 **市内医療5団体(※)との連携**により、**啓発ポスターの掲示や
かかりつけ患者等への呼びかけ**を実施します。

※ 市医師会・市病院協会・市歯科医師会・市薬剤師会・市看護協会

【取組4】その他関連する取組

【内容】・「保育所・学校における麻しん対応」に関する流れの整理及び周知
・麻しん含有ワクチンの供給量を踏まえた優先順位の整理

4 その他

海外(特に東南アジア地域)においても麻しんの流行が報告されています。
渡航予定のある方は、予防接種歴を確認するとともに、未接種の場合、麻しん含有ワクチンの接種を御検討ください。

【問合せ先】

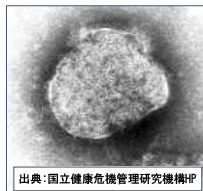
川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策課 神庭(かにわ)

電話:044-200-2343 (内線32905)

1 麻しん(はしか)の概要

(1) 麻しん(はしか)とは

- 麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、**感染力が非常に強く、免疫をもっていない人が感染した場合、ほぼ100%発症**する。
- **一度感染すると免疫は生涯持続する**とされている。



(2) 主な症状

- 約10日後に**発熱や咳・鼻水・目の充血**等の風邪症状が現れる。
- 2～3日熱が続いた後、**39度以上の高熱と発疹**が出現する。
- 肺炎・中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人程度の割合で脳炎を発症する。



(3) 感染経路

- **空気感染**・飛沫感染・接触感染でヒトからヒトへ感染する。
- **インフルエンザの約10倍**の感染力がある。
- **発症する1日前から解熱後3日を経過するまで**周囲への感染力がある。

[基本再生数(Ro)]

区分	麻しん	水痘	百日咳	ジフテリア	インフルエンザ	天然痘	新型コロナウイルス
Ro	12~18	8~10	12~17	6.1	1~2	3~6	2.1~5.1

出典:国立健康危機管理研究機構

(4) 治療方法

- 治療薬など、**特異的な治療法はない。**
- 発熱に対する解熱剤など、症状に応じた**対処療法が中心**となる。

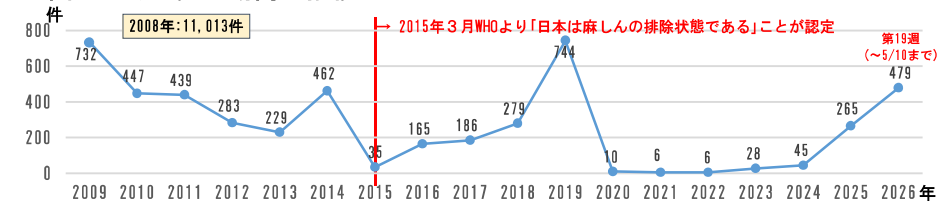
(5) 予防対策

- 手洗い・マスク等の**基本的な感染対策だけでは十分に予防できない。**
- **最も効果的な予防法は「麻しん含有ワクチン」の接種**で、2回接種することで、発症・重症化・周囲への感染リスクを低下させる。
- ※ **「五類感染症全数把握疾患」**のため、**発生時は「積極的疫学調査」**を実施

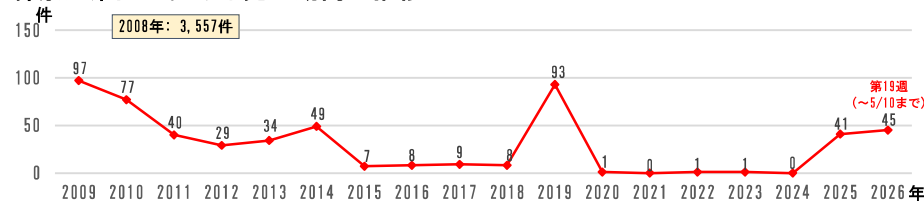


2 麻しん(はしか)の発生動向

(1) 全国における発生動向の推移



(2) 神奈川県内における発生動向の推移



(3) 川崎市内における発生動向の推移

区分	2008年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
発生届	224件	11件	0件	0件	0件	1件	0件	2件	27件

(注: 2026年データは5/18現在)

3 川崎市における麻しん(はしか)の予防対策(現行の取組)

(1) 定期予防接種

ア 対象者

- ・ 第1期(1回目接種): 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・ 第2期(2回目接種): 小学校入学の前年度1年間(4月1日~翌年3月31日)

イ 使用ワクチン

「麻しん風しん混合ワクチン(MR)」
又は「麻しんワクチン」

ウ 個別勧奨(対象者あて案内通知の送付)

- ・ 第1期: 1歳の誕生月の翌月
- ・ 第2期: 小学校入学の前年4月

(2) 未接種の子どもに関する対応(無料の任意予防接種)

ア 対象者

- ・ 市内在住の第1期又は第2期未接種接種で次に該当する者
- ・ 第1期: 2歳~3歳に至るまでの間にある者
- ・ 第2期: 小学校1年生

イ 使用ワクチン

3(1)イと同じ

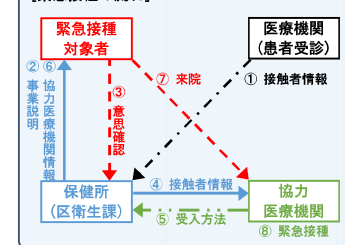
(3) 麻しんワクチンの緊急接種

- ・ 流行を踏まえ令和7年度開始(R7県→R8市事業)
- ・ **麻しん患者との接触から72時間以内で、保健所が必要と判断した者**に対して緊急接種を実施

[対象者等の変遷]

- ・ 昭和47(1972)年9月30日以前生まれ:
定期予防接種が実施されていない対象者
- ・ 昭和47(1972)年10月1日
~平成2(1990)年4月1日生まれ:
定期予防接種が1回実施の対象者
- ・ 平成2(1990)年4月2日
~平成12(2000)年4月1日生まれ:
定期予防接種が1回実施の対象者(ただし、2回目の特例措置あり)
- ・ 平成12(2000)年4月2日以降
定期予防接種が2回実施の対象者

[緊急接種の流れ]



麻疹（はしか）の流行に伴う予防対策の強化・拡充について

4 流行状況を踏まえた課題

(1) 収束の見通し

- 令和8（2026）年5月13日現在、第19週までに全国で479件の麻疹が発生し、現状が継続すると、**令和元年（2019）年の流行（744件）を上回る**ことが予想される。
- 収束時期は不透明なため、**流行の長期化も想定**する必要がある。

(2) 感染経路の特定

- 日本は麻疹の排除状態であるため、渡航時や来日者からの感染が想定されるが、**渡航歴のない者も感染しており、過半数が感染経路を特定できていない。**

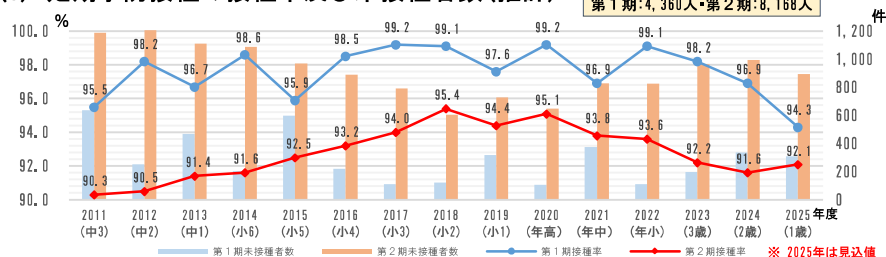
(3) 予防と対策

- 基本的な感染対策だけでは麻疹を防ぎ切れないため、最も効果的な予防法はワクチン接種となるが、**一部には罹患歴・接種歴がない者が存在**する。
- 定期予防接種について、**国は接種率95%以上を目標**としている。
- **乳児の重症化リスクは高い**が、原則、**0歳児はワクチンを接種できない。**

5 予防対策の強化・拡充

【取組1】子どもに関する対応の強化

(1) 定期予防接種の接種率及び未接種者数（推計）



(2) 無料任意予防接種の対象拡大

ア 目的

『未接種者（0回）を減少させるとともに、確実な2回接種を進める』

イ 対象者の拡大及び目標

- ・ 第1期：**中学校3年生まで** 【目標：**100%**（免疫不全等の者を除く）】
- ・ 第2期：**中学校3年生まで** 【目標：**95%以上**】

※ 対象者あて**段階的に個別勧奨（案内通知）**を実施

ウ 実施期間

令和9年3月末までの時限措置（状況により延長を検討）



【取組2】環境整備による0歳児の感染予防

(1) 0歳児を持つ1回接種以下の保護者数(想定)

概ね2,000人程度

10,395人(R7出生) × 2人(父母) × 7.9%(R7第2期末接種) = 1,642人

(2) 環境整備による感染予防策

ア 目的

『父母の免疫を高めることで、0歳児の予防環境を整備する』

イ 対象者及び支援

- ・ 対象者：**0歳児を持つ同居の父母**で、**接種歴が1回以下**の者
- ・ 支援：**接種費用（初診料・技術料を除く）1回分**
又は抗体検査費用1回分を助成

ウ 実施期間

事業開始から当面の期間



【取組3】麻疹予防の啓発強化

(1) 麻疹予防に関する注意喚起（ポスター等の作成）

ア 目的

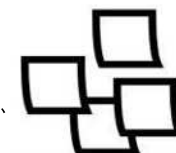
『確実な2回接種に向け、任意接種検討の機会を創出する』

イ メッセージ例

- ・ **増えています。麻疹のリスク!!**
- ・ **感染予防！ マスク・手洗い防げません!! 接種歴の確認を!!!**
- ・ **気を付けてほしいこと〇（マル）簡条 など**

(2) 市内医療関係5団体との連携

医師会・病院協会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会と連携し、**院内等におけるポスター掲示や患者への呼びかけを実施**



【取組4】その他関連する取組

- 「保育所・学校における麻疹対応」に関する流れの整理及び周知
- ワクチンの供給状況を踏まえた優先順位の整理

6 今後の主なスケジュール

- 関係団体等との調整：5月下旬から6月下旬
- 予防対策の強化・拡充：ワクチン供給等を踏まえ、7月から順次取組を開始